

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホームあがりみち・白砂ユニット・青松ユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、法人理念を基盤として、事業所独自の目標を作成し掲示している。毎月のチーム会にて実践の振り返りを行い職員間で共有し支援に繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入し、年4回機関誌を地域へ回覧し事業所の理解を深めている。また、近隣の保育園の誕生会へ誕生日カードを贈呈、小学校の下校時の見守り隊を行う等利用者の地域との関わりを促している。	コロナ禍の状況も令和5年5月からは変化がある。法人としての対応に準ずる形で地域とのつながりをコロナ禍前の状態に徐々にしていく必要である。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には、自治会長、民生委員。市の担当者、家族、他事業所家族等の参加があり事業所の取り組みや課題を話し合いサービス向上に生かせるように努めている。また、事故報告も共有し意見を得ている。	委員の方からのご意見に対してどのように取り組んだかを運営推進会議を通して具体的に報告し情報共有に努める。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者とは、運営推進会議の他必要があれば積極的に情報交換、事故報告、利用者の介護保険変更申請や更新申請の相談等行い協力関係を築いている。	現状の通り継続していく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束のないケアを実践し常にご利用者の気持ちを第一に考え、言葉かけに配慮し行動の制限をしないよう努めている。不適切なケアを行っていないか会議で振り返る他日々の支援の場でも話し合い共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「虐待の芽自己点検シート」の振り返りの中で不適切なケアが自施設内でも行われているとの回答があったが、職員間の話し合いの場を更に持つことで理解を深めてほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が、エリア内の「身体拘束適正化に関する研修」で虐待の目自己チェックを行い振り返りシートを提出した。チーム会でも具体的な場面を挙げ話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所職員全員が自事業所内で虐待の芽である「不適切なケア」がないと思えるように研鑽を重ねていただきたい。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は日常生活自立支援事業や成年後見制度の資料等を読み理解を深めている。職員への知識の伝達は不十分であり今後の課題である。必要があれば家族へ助言し関係機関を活用できるように支援体制を整えたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規利用者には、施設でのサービス内容を契約書及び重要事項説明書を用いて説明を行っている。分かりやすい説明を行いしっかり理解していただき同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームページや意見箱を準備する他家族からは電話や対面時に意見を得ており丁寧な対応に努めている。家族からの意見から入浴リフトの導入が決まる等出された意見を検討し運営に生かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から運営に対しての意見を表出することは難しい事と考えるが、ハード面の対応で満足せずにソフト面でご家族の立場に立った対応を期待したい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者はチーム会議で職員の意見を聞く他日常的に職員が言いやすい雰囲気づくりを心掛けている。出された意見は職員間で話し合いを行い事業所内で工夫し管理者がエリアの施設長に相談するなど現場の声をいかしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は職員とのコミュニケーションを日常的に心掛け、向上心を持って働けるように努めている。各自の希望に沿った今後の働き方が出来るように努める。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者は就業環境の改善に対して努力してほしい。職員就業満足度が上がる事はご利用者のケアの質向上にも反映するのではないかと考える。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修への参加を計画的に行い、法人からのeラーニング研修の案内の発信も行っている。勤務時間内での視聴が難しい為十分な研修体制が整っていない現状である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修時間が出来るだけ勤務時間内に考慮出来るように職場全体で取り組んでほしい。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内のグループホームステップアップ会議では管理者間の情報交換が密に行われているがコロナ禍の中職員同士の交流の機会は作れていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴の把握に努め趣味や得意なこと等を通して能力が発揮できるような支援に努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、馴染みの場所や人に会う機会も多くは支援できていない。帰宅希望のご利用者を定期的に自宅近隣までドライブし安心を促している。	ご利用者個々の馴染みの場所や人を、日頃の関わりの中で引き出し、具体的な支援方法を検討して欲しい。		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は利用者の思いを日々の行動や表情から汲み取り家族とも連携を図りご利用者の希望や意向把握に努めている。飲み物のメニュー表を作り選んでもらうなど思いが表出しやすいように工夫している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からご利用者の意向把握に努め、アセスメントで課題を抽出し家族からも面会時や電話で意向を伺い必要に応じ専門職にも相談している。チーム会で話し合い生活支援計画を作成している。	ご利用者のニーズの抽出は日頃の関わりの中から出来ているが具体的な支援へ結びつくようにして欲しい。	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	専門職を含めたチームでの介護計画の立案が出来ている事は評価できる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活支援計画に基づき日々の様子や気づきを個別記録に記入して職員間で共有している。また、ヒヤリハット報告書の是正策や日々の実践を評価した後に新たなケア内容があれば生活支援計画書に追記して共有を図っている。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での事例報告からも、職員の工夫や努力が伝わってきた。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新たな気づきや発見については介護管理日誌等で情報共有を図りながら柔軟な支援をしている。	今後も継続した柔軟な取り組みを期待したい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中地域へ出かける機会もなく地域の活動への参加もできていない。ご利用者個々にとっての楽しみの把握に努め地域資源と結びつけることが出来る状況となったときに結び付けたい。	以前来てもらっていたコーラスのボランティア等地域の方の来訪を検討していきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前からの医療機関を希望するご利用者がほとんどで家族の協力を得て受診する他必要に応じて職員も同行している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の主治医、相談員と連携を図りながら安心して治療が出来るように情報提供を行っている。早期退院に向けての話し合いを行い退院後も主治医や医療機関との連携をとっている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医やソーシャルワーカーとの連携により入退院時の情報共有がスムーズに行えるように努める。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の対応については入居時に加え介護計画更新時にご利用者や家族の意向を確認している。家族へは日々の利用者の変化を詳細に伝えており意向により主治医、家族、職員でカンファレンスを開催し看取り計画書に基づいて支援に取り組んでいる。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期に対して地域の関係者が関わる事は多くはないが、施設の生活とはいえ地域の中で暮らしているとの思いを結びつける支援をしていく事は重要である。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時に備え手順や対応を職員間で確認している。エリアの内部研修にも参加し事業所内でも初動対応について共有しているが職員は実際に緊急時に対応が出来るかを不安に感じている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設のデイハウスと合同で定期的に防災訓練を実施し、例年は地域住民の参加も呼び掛けている。今後は地震・水害時を想定した訓練を年間計画に組み込み事業継続計画(BCP)の策定、都度更新しておくことが必要となる。	今後は地域と連携をとりながら災害対策に取り組んでいく必要がある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は地震・水害時を想定した訓練を年間計画に組み込み、地域の方への参加も呼び掛けていく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	威圧的にならないよう声の大きさや言葉かけ、話の内容に配慮し個々のご利用者の意向を大切に人格を尊重した対応に努めている。管理者は職員の支援を見守り気づきを伝えるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自己点検シート」で定期的に振り返りケアの見直しを繰り返す必要がある。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活支援計画書を出来る限りその人らしさを表出できる内容にし、日々の心身の状態に合わせた支援を行っている。生活の中で役割や生きがいに繋がる活動を工夫している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理に携わっていただく支援はコロナ禍になり出来ていない状況であるが、食器の片づけは職員と共に行っている。食べたいものを聞き出し誕生日に提供することなどを今後は工夫したい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の誕生日の特別メニューなど、食べる事への満足度を上げてほしい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分は利用者毎の目安で、嗜好に応じ1500CC前後の提供としている。帰属施設の栄養士の献立を基に提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士の訪問が月に1回あり口腔ケアの技術的助言や指導を基に口腔内の清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアは、個性の大きいケアであるが継続することでの効果も大きい。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	快適な排泄支援を目指し安易なおむつの使用をせずに生活総合記録に排泄パターンを記録し出来る限りトイレで排泄できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設に入居しおむつの使用がなくなる事は素晴らしいことである。ご利用者にとって気持ちの良いことである。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回の入浴支援が快適にリラックス出来るものとなるように入浴用のリフターを導入した。歩行困難ご利用者も浴槽へ入ることが出来るようになり喜んでもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝について、個々の睡眠リズムに配慮し支援している。夜と認識しやすいように寝間着への更衣を支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬介助の仕方、注意点をまとめた顔写真入りの一覧表をチーム毎に作成している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でも薬に関する事故報告はなくなる。日々の改善努力を継続していき薬に関する事故をゼロにしてほしい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人一人の希望や趣味、習慣等に配慮しながら生活の中に役割を創出している。月1回、チーム合同でのアクティビティ計画を立て実施している。	コロナ禍の中、事業所内の見学が出来なかったが、生活の様子がわかるスライドを観て個々のご利用者への配慮を感じた。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、外出支援は春の花見、近隣へのドライブのみしかできていない。ご家族の希望で自宅への外泊が出来たご利用者もいたが継続的な状況ではなかった。	施設内での生活の中で外出支援は大切であると思う。個別な外出支援を計画してほしい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嗜好品などの買い物へ個別に出かけていたが、コロナ禍の中買い物支援は控えている。本人の希望があれば職員が代わりに購入している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が希望するときに電話がかけられるように配慮している。また、ご家族からの電話も取り次ぐ支援をしている。			
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	台所やリビングは対面式で常に誰かがいる安心感があり共有空間には季節の花や季節感のある飾りが飾られている。またリビングは中庭に面しておりウッドデッキに出ることで外気浴も出来るようになっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有空間への配慮がなされており季節の花を飾るだけで和む空間となると思う。ウッドデッキの活用も大切なことで外気に触れる機会を作る事は良いことである。
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「家に帰りたい」などの思いを傾聴しパーソン・センタード・ケアの理念に基づいて寄り添うケアを実践している。思いの実現が十分にはできていない。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴などの情報は入居時に家族に「ヒストリーシート」を記載してもらい把握するようにしている。家族にも協力してもらいに本人の意向に沿った暮らしとなるような支援をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各担当、主治医、訪問看護と連携し、日々の健康管理を実施している。環境、安全面においても状況の変化に合わせて対応している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の観察を十分に行い関係機関との連携を継続して行ってほしい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりのその日の体調に配慮しながらご本人の気持ちやペースを尊重した支援に努めている。起床時間、就寝時間等も個々の習慣を大事にしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の生活歴に配慮した大切な品を居室に保管し、写真、本等馴染みの物を側に置いている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設に居ても、自分の部屋がある状態は非常に落ち着けると思う。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本来は、ご利用者の意向、希望に合わせた外出や地域の催しに参加するよう支援を行うが、今期は、コロナ感染防止の観点から出来ていない。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況を踏まえて出来る役割、活動を日々の生活の中で行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の暮らしの中で、ご利用者同士、職員と関わる時間を設け歌を歌ったりテレビを鑑賞したりと自由にくつろげる環境になっている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	くつろげる環境は重要である。個々に違いはあると思うが個別の思いに早く気づき、ケアに繋げる事が求められる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	今期は、コロナ禍の中で近隣や地域交流の機会がなくなってきたが、以前は、ボランティアの来訪もあり交流の機会が多くあった。感染状況に配慮して再開していく。	今後、コロナ禍の行動制限の緩和があり様々な地域活動への参加の再開があると思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行の緩和に努め、健康面にも留意して一人ひとりの状況に応じ、GHで安心した暮らしが出来るよう努めている。	ご利用者・ご家族にとって、GHでの暮らしが安心できるものであることが重要であり今後もそう努めてほしい。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームの特色を生かし地域で安心して暮らせることは理想である。開かれた施設であってほしい。コロナ禍の制限の緩和の中、地域の活動への参加を期待したい。